

平山郁夫シルクロード美術館News

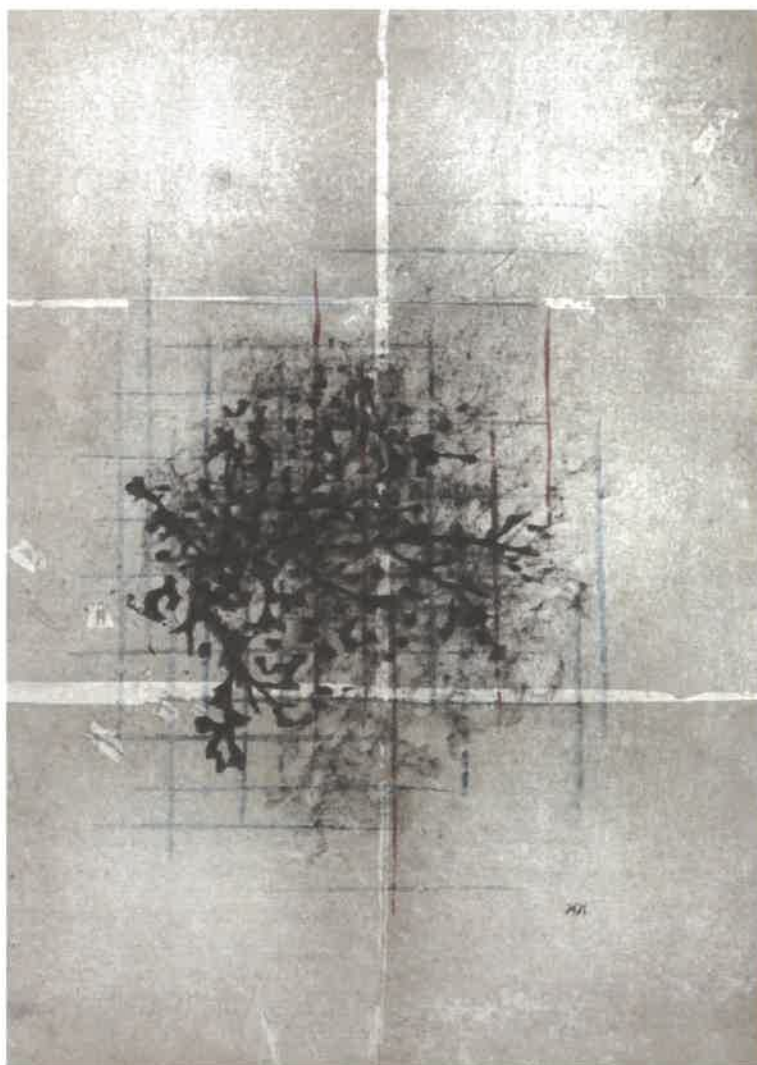
The Hirayama Ikuo

Silk Road Museum

News

No.31

2026年3月発行



平山美知子 《アラベスク》 絹本木版 1952年

当館名誉館長である平山美知子(1926年～)は、平山郁夫の妻であり、長年にわたり夫を支え、シルクロードをともに旅した存在です。東京美術学校(現・東京藝術大学)で平山郁夫と出会い、日本画の研鑽を重ねましたが、結婚後は取材の準備や記録などを通してその画業を支えました。制作の第一線を退いた一方で、版画やアクセサリー制作に取り組み、独自の表現を続けてきました。

本作は東京藝術大学副手時代のもので、同大学美術学部初の女性副手となった節目の時期に制作されました。



平山郁夫シルクロード美術館

HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM

特別企画展 平山美知子100歳記念 「道はあとからついてくる」

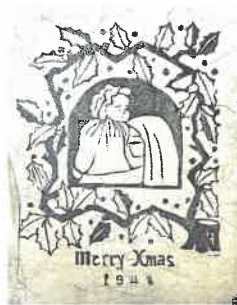
2026年3月20日(金)～6月15日(月)



《猫》木版 1950(昭和25)年 24歳

今年100歳となる平山美知子(1926〔大正15〕年～)は、平山郁夫とともにシルクロード各地を旅し、夫の取材や画業を支えるかたわら、自身も創作や蒐集に携わってきました。また、旅の記録やエッセイなどを通して、その体験と思索を言葉としても残してきました。本展では、その生誕100年を記念し、東京美術学校時代の絵画をはじめ、夫との旅の記録や出版物、さらに版画や彫金、装身具の制作にも注目しながら、平山美知子の創作の軌跡を紹介します。

あわせて、展示室1～3では、「シルクロードの美仏たち II」を開催いたします。洛陽の仏頭をはじめ、平山郁夫が描いた仏像のスケッチや絵画を、仏像とともに展示いたします。



クリスマスカード 1948(昭和23)年 22歳

Information

- ◆会期 2026年3月20日(金)～6月15日(月)
- ◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆観覧料 一般1200円/高大生800円/小・中学生無料
- ※障がい者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円
- ※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円引き
- ◆主催 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
- ◆後援 山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、朝日新聞甲府総局、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム八ヶ岳

平山美知子名誉館長が2026年1月2日、満100歳を迎えました。

平山美知子の歩みを伝える展示写真の一部をご紹介します。ぜひこの機会にご来館ください。



1



2



3



4



5

- 1.1938年 代々木、松山家家族全員で
(後列右から2番目)
- 2.1962年 成増の自宅にて
- 3.1969年 成増の自宅にて、版木をけずる
- 4.1968年 アフガニスタンバーミアンにて
- 5.2005年 金婚式

化石発掘体験

「化石発掘体験2025」報告

平山廉(平山郁夫シルクロード美術館 理事長)

恒例の夏休みイベントとして「化石発掘体験」が平山郁夫シルクロード美術館の2階野外ステージで実施されました。2025年7月5日に始まり、8月11日まで延べ18日間にわたって開催され、参加者総数は過去最多の2132名でした。一昨年から毎日10時30分、13時30分スタートの2部に分けて発掘体験会を実施しています。見つかった化石を鑑定する講師として、鷯野光さん、仲谷英夫さん、久保泰さん、久保麦野さんに参加していただきました。今回の化石発掘体験で見つかった「プレミア化石」は史上最多762点にもなりました。その内訳は、サメの歯、カメの甲羅、コプロライト(糞の化石)、虫入り琥珀、また「マユモドキ」と関係者から呼ばれている謎の化石などです。また美術館2階カフェでは、「ワニ展」を開催しました。早稲田大学が所蔵する化石・現生のワニ30種類を展示するという国内でも初の内容でした。久慈で見つかった貴重なワニの化石も展示されました。化石発掘体験終了後に化石に触れてもらうワニ・タッチも実施しました。

今年の夏も第11回目となる化石発掘体験を予定しています。7月4日に始まり、8月10日まで18日間の開催を予定しています。大発見をめざして平山郁夫シルクロード美術館に集まってください。

また、2階カフェでは、「生痕(せいこん)化石展」を予定しています。脊椎動物の骨や歯は「体(たい)化石」と呼ばれますが、生物が残した行動の跡(足跡や巣穴など)、また皮膚や卵、さらに糞の化石(コプロライト)は生痕化石と呼ばれ、動物が生きていた当時の生活を知る貴重な手がかりとなります。今回は恐竜の足跡や卵の化石などを用意します。



ビニールシートに掘った9千万年前の地層から化石を探しているところです(7月12日)。



ワニの化石に触れるワニ・タッチです(7月24日)。



体験終了後に参加者全員で記念撮影(7月5日)。



これはミツクリザメと呼ばれるサメの歯です。サメの歯は35本が見つかりました。



「マユモドキ」と呼ばれる謎の化石。イッテルビウムというレアアースで覆われているのも特徴です。



慰労会での集合写真。皆様どうもお疲れさまでした(8月10日)。

巡回展レポート

中国における当館所蔵品展について(7)

平山郁夫シルクロード美術館 館長 平山東子

2025年度も、中国各地で当館のシルクロードコレクションに関する展覧会および交流事業が進められました。まず昨年は春に黄山美術社の陳建中社長とともに北京・深圳を訪問、巡回展の視察および今後の展覧会についての打ち合わせを行いました。北京では清華大学芸術博物館で2025年冬に計画されていたガンダーラ展についての相談を行いました。この展覧会は当館の誇るガンダーラの仏教彫刻の名品約200点を貸し出すという大がかりな企画でしたが、その後、この計画は会場館の方針により頓挫し、現在は、台湾も視野に入れた開催を検討しているところです。

深圳では、巡回中の「シルクロード陶器展」の開幕式に立ち会いました。驚いたことにこの深圳市博物館では2018年から開催してきた当館の4つの巡回展を全て開催してくださっているそうです。開幕式の後には、博物館近くの広東飲茶の名店、繁楼(ファンロウ)で昼食をとり、その後、同館の黄探館長による、現在、深圳市内で建設中の新館「前海博物館」についてのプレゼンがありました。この博物館は、深圳と香港を臨む珠江デルタ河口の前海湾に位置し、この秋の完成が予定されている大規模文化施設です。この博物館は前海エリアの文化拠点として計画され、2026年9月にはオープンを記念した「前海シルクロード展」が企画され、当館からもシルクロードの交易や交流を象徴する約70点の出品を予定しています。翌日、黄山美術社の方々と共に建設現場を実際に見に行きましたが、テンセント本部などが立ち並ぶ臨海都市の前にそびえる、造りかけの楼閣のような巨大建造物(総面積約12万6000㎡)にただただ圧倒されるばかりでした。



建設中の深圳深海博物館(2025年4月)
2階3000㎡の絲綢之路コーナーに当館の
収蔵品を展示予定。



大阪万博、中国パビリオンにて、平山郁夫のレリーフ。駐大阪中国総領事(左)とともに。

さらに現在、マカオでは2024年にオープンした保利MGM博物館にて、「絲路無疆—陸上シルクロード展」(2026年9月末まで)が開催され、当館もガンダーラ仏や染織品などを出品しています。深圳やマカオなど、香港周辺の経済活動の活発なエリア(大湾区)では、大がかりな文化施設の建設や交流事業も多く、依然として一帯一路/シルクロードへの関心も高いように見受けられました。

また、大阪で開催された関西万博の中国パビリオンでは、阿倍仲麻呂から鑑真、田中角栄など、日中友好に貢献した人物を紹介する絵巻物のような大きなレリーフが制作され、最後の場面にはスケッチブックを手にした平山郁夫の姿が刻まれていました。大阪総領事薛劍氏にご案内いただ



き、当館理事長と井上隆史監事と見学に行きましたが、中国における平山郁夫の評価の高さを改めて実感する機会となりました。

そしてコロナ禍の2022年夏に敦煌でスタートし、成都や深圳、石家荘などを巡回したシルクロードの金属展(「点石成金」)は、6会場目となる洛陽の二里头遺跡博物館を経て、2026年1月に帰国しました。特に「天馬のリュトン」は、2018年夏に敦煌で始まった最初の巡回展に出品して以来、他の巡回展も「はしご」して参加していた人気作品で、長いキャラバンの旅を終え、無事再会できたことに深い感慨を覚えました。

とはいえ、昨今の日中関係の緊張により、当館の中国における展覧会事業も先の見えにくい状況となっています。その一方で、新たな企画や交流の動きも生まれつつあり、今後も中国をはじめとする海外および国内での展覧会を通して、シルクロード文化の魅力と平山郁夫の理念を発信していきたいと考えています。



約7年の長旅の末、館内で点検中の「天馬のリュトン」

「第15回シルクロード研究会」の開催

「平山郁夫と祈りの旅路」と題し、平山郁夫に関する数多くの出版物を手がけてきた小宮氏を講師に迎え、研究会を開催しました。長年にわたる交流を通じての思い出や、奈良・薬師寺に奉納された大作《大唐西域壁画》制作の秘話などもお話いただきました。この研究会は平山郁夫が多くの名作を生み出した画室「庫庵(こあん)」にて行われ、創作の現場に身を置きながらお話が聞ける貴重な時間となりました。

日時:令和7年11月8日(土) 13時半～15時

会場:平山郁夫画室(鎌倉市二階堂)

講師:小宮浩氏(当財団評議員/元講談社編集部長)

参加者:20名



「庫庵(こあん)」

平山郁夫が晩年まで創作を続けた画室です。神奈川県鎌倉市にあるこの画室では《大唐西域壁画》をはじめとする数々の代表作が描かれました。毎年ここを会場に研究会を開催しています。



美術館ノート

「八ヶ岳南麓の工房・作家によるクラフトフェア」の開催

◆会期:11月1日(土)～11月16日(日)

会期中は無休 10時～17時(入場は16時半まで)

※最終日は、15時まで。

◆会場:平山郁夫シルクロード美術館 2Fカフェ「キャラバンサライ」

標高1000mの八ヶ岳では11月上旬に紅葉を楽しむことができます。そんな色とりどりの紅葉や収穫の季節に、地域のクラフト作家さん達とともに、「作品を『観て・ふれて・買って』を楽しめる展示」をテーマとした、「八ヶ岳南麓の工房・作家によるクラフトフェア」を開催しました。会期中は8つの工房の作家さんが交代で会場に滞在し、さまざまな交流が生まれる場となりました。今後も地域文化の発信拠点の一つとして多様な企画に取り組んで参ります。



出展者:根ノ鼻窯 / デザイン工房 昴 / hyrrokkin ヒュロッキン / hideatsu ひであつ / ガラス工房うず / イーゲルハウス / 陶房のぎ / ぼんてんや

協力:八ヶ岳アート&クラフトネットワーク

美術館スタッフ研修旅行

日時:2025年11月6日(木)

見学場所:鎌倉芸術館、高德院、鎌倉・江の島周辺見学

秋が深まる晴天日に、美術館スタッフ22名で鎌倉・江の島を訪れました。鎌倉大仏殿高德院を拝観した後、鎌倉芸術館にて特別企画展「平和への祈りー平山郁夫」を鑑賞しました。昼食は、湘南名物の「しらすご膳」をいただき、顔を合わせる機会が少ないスタッフ同士が親睦を深めました。また江の島では、芸術とも関係のある江島神社を参拝しました。初めて訪れたというスタッフもあり、平山画伯の活動や歴史、芸術への知見を深める良い機会となりました。



高德院にて



鎌倉芸術館で「平和への祈りー平山郁夫」展を鑑賞

イベント報告

2025年3月～2026年3月

○コンサート・ワークショップ



北杜高校ギター部
ギャラリーコンサート
●開催日:3月21日(土)
●演奏者:北杜高校ギター部
●参加者:約200名(2部制)



化石発掘体験2025
●開催日:7月5日(土)～8月11日(月)
●講師:平山廉、鶴野光、仲谷英夫、久保泰、久保麦野
●参加者:2132名



ジオラマ作り体験-白亜紀にタイムスリップ!
●開催日:7月25日(金)、26日(土)
●講師:宮沢叔恵(グリーンベル)
●参加者:60名



恐竜全身復元模型制作
●開催日:8月2日(土)
●講師:徳川広和
●参加者:10名



ティラノサウルス
頭部復元模型制作
●開催日:8月3日(日)
●講師:徳川広和
●参加者:20名



恐竜ワイヤーアート作り体験
●開催日:8月10日(日)
●講師:松田広昭(デザイン工房 昴)
●参加者:13名



復元画ワークショップ
●開催日:8月16日(土)、17日(日)
●講師:小田隆
●参加者:20名

○講演会



平山郁夫シルクロード美術館所蔵の
仏教塑像に関する分析と新知見
●開催日:12月6日(土)
●講師:谷口陽子(筑波大学教授、文化財保存学)
山根萌々花(筑波大学大学院)

2025年度スクールプログラム

- 4月25日(金) 北杜市立甲陵中学校1年生 44名
- 5月9日(金) 市川三郷町立市川南中学校 19名
- 5月13日(火) 北杜市立泉小学校5、6年生 90名
- 5月16日(金) 北杜市立長坂小学校3年生 57名
- 6月3日(火) 長野県飯田OIDE長姫高校1年生 40名
- 6月15日(日) 東京外国語大学ペルシア語専攻 40名
- 7月22日(火) 北杜市立長坂中学校 美術工芸部員 13名
- 8月26日(火) 北杜市福祉課 ひきこもり支援事業「北杜AG活動」6名
- 9月13日(土) 立教大学文学部キリスト教学科および立教大学大学院
キリスト教学研究科聖書学演習 18名
- 9月28日(日) 東洋大学文学部東洋思想文化学科・檜山ゼミ 12名
- 9月30日(火) 亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科 21名
- 10月7日(火) 桐朋女子高等学校1年生 15名
- 10月22日(水) 北杜市立明野中学校1年生 32名

ミュージアムグッズ紹介

らくだスタンプ(小)(中)

平山郁夫のキャラバンを思わせるシル
エットスタンプ。連続して押せば隊列もでき
ます!シルクロードの旅の情景を、手元で楽
しめる人気アイテムです。オンラインショップ
でも購入可能です。



←オンラインショップはこちらから



2026年上期 開館カレンダー

4 April						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 May						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6 June						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7 July						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 August						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

3/20～6/15 「道あとからついてくる」展
「シルクロードの美仏たちII」展
※6/16～6/18は展示替えのため休館

6/19～9/28 企画展「平山郁夫 日本を描くー
古都・四季・祈りの山河」
前編 奥入瀬への道
7/4～8/31 「生痕化石」展
7/4～8/10 「化石発掘体験2026」

4/25～10/31 「カフェキャラバンサライ」営業
(土、日、祝日のみ営業)
カフェ営業日

賛助会
だより

賛助会会員募集

賛助会は美術館の活動を支援するとともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用されます。賛助会員にはさまざまな特典(詳しくは美術館HPをご覧ください)のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

- ◆会費 個人会員…… 10,000円
家族会員…… 15,000円
法人会員…… 100,000円

- ◆受付時間 随時受付(毎年7月に更新。12～3月にご入会の方は初年度の年会費は半額、4～6月にご入会の方は翌年6月末日まで有効)。

- ◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行口座に会費をお振込み下さい。申込用紙をご希望の方は美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求下さい。

お知らせ

次回の展覧会案内

企画展「平山郁夫 日本を描くー
古都・四季・祈りの山河」
前編 奥入瀬への道

2026年6月19日(金)ー9月28日(月)

1959年、平山郁夫が東北で出会った奥入瀬渓流は、「生きる喜び」を教えてくれたと語っています。本展では、《流水間断無(奥入瀬渓流)》を中心に、日本の風景を描いた作品を紹介します。



平山郁夫 流水間断無(奥入瀬渓流)部分1994年



平山郁夫シルクロード美術館
HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM



平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第31号 2026年3月発行
発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6
Tel 0551-32-0225
URL <https://www.silkroad-museum.jp/>



公式ホームページ